

高知工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)	授業科目	美術
科目基礎情報					
科目番号	B1013		科目区分	一般 / 必修	
授業形態	実習		単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	SD 基礎教育・一般科目		対象学年	1	
開設期	通年		週時間数	1	
教科書/教材	教科書: 「高校美術1」 (光村図書)				
担当教員	中村 達志				
到達目標					
1・美術表現の基礎となる観察力・描写力・造形力を高める。 2・美術鑑賞の意識と態度を養い、制作に対する姿勢を培う 3・学習を通して、美術の知識と理解を深め、制作の技能や鑑賞の能力を養う。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1表現	意欲的に取り組み、主題に合った表現を工夫し、創造的な制作をする。	真面目に取り組み、主題に合った制作をする。	自己の能力を十分に発揮せず、制作を終える。		
評価項目2鑑賞	自己の美意識や価値観を働かせて、作品を考察し批評する。	興味関心を持って、作品を考察し批評する。	無関心なまま、作品を考察し批評する意欲を示さない。		
評価項目3ノート	授業者の話や板書に、自己の考察や知識をプラスしたノートをまとめる。	授業者の話や板書をノートにまとめる。	授業者の話や板書をノートにまとめない。		
学科の到達目標項目との関係					
(A)					
教育方法等					
概要	美術作品の制作および鑑賞を通し、美術へ関心を持ち、自身の表現を創意工夫し探究する力を身につけ、創作活動を通して芸術を愛好する心情をはぐくみ、真摯に制作を達成することを目標とする。				
授業の進め方・方法	制作および鑑賞にあたって、関心や意欲を引き出す教材として、教科書や参考作品を活用する。またそれらから画材や道具の基本的な使い方や応用の仕方を学ぶ。				
注意点	課題作品/ファイル等の提出物/平素の学習状況等を総合的に評価する。				
授業の属性・履修上の区分					
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応	
<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	オリエンテーション[1]	美術の概要や授業計画を伝える。	
		2週	美術基礎[2]	教科書を鑑賞し、美術への関心や意欲を引き出す。	
		3週	鉛筆デッサン[3-4]	形の基本的な描き方と明暗の捉え方を学ぶ。	
		4週	鉛筆デッサン[3-4]	形の基本的な描き方と明暗の捉え方を学ぶ。	
		5週	素描 クロッキー[5-6]	速描で人体のプロポーションや動勢を捉える。	
		6週	素描クロッキー「5-6」	速描で人体のプロポーションや動勢を捉える。	
		7週	教科書学習[7-8]	教科書をテキストに美術作品及び美術史を学ぶ。	
		8週	教科書学習[7-8]	教科書をテキストに美術作品及び美術史を学ぶ。	
	2ndQ	9週	風景スケッチ「9-10」	身近な中庭の風景を線遠近法や空気遠近法などを意識して、的確に描く。	
		10週	風景スケッチ「9-10」	身近な中庭の風景を線遠近法や空気遠近法などを意識して、的確に描く。	
		11週	素描クロッキー「11-12」	速描で人体のプロポーションや動勢を捉える。	
		12週	素描クロッキー「11-12」	速描で人体のプロポーションや動勢を捉える。	
		13週	立体工作「13-14」	構想した展示物とその周辺環境・背景を立体的に表現する。	
		14週	立体工作「13-14」	構想した展示物とその周辺環境・背景を立体的に表現する。	
		15週	ジオラマ仕上げ「15-16」	夏季休暇の課題制作であるジオラマ作品を仕上げる。	
		16週	ジオラマ仕上げ「15-16」	夏季休暇の課題制作であるジオラマ作品を仕上げる。	
後期	3rdQ	1週	ジオラマ仕上げ「17-18」	夏季休暇の課題制作であるジオラマ作品を仕上げる。	
		2週	ジオラマ仕上げ「17-18」	夏季休暇の課題制作であるジオラマ作品を仕上げる。	
		3週	風景淡彩スケッチ「19-20」	身近な中庭の風景を線遠近法や空気遠近法などを意識して、的確に描く。	
		4週	風景淡彩スケッチ「19-20」	身近な中庭の風景を線遠近法や空気遠近法などを意識して、的確に描く。	
		5週	素描クロッキー「21-24」	速描で人体のプロポーションや動勢を捉える。	
		6週	素描クロッキー「21-24」	速描で人体のプロポーションや動勢を捉える。	
		7週	素描クロッキー「21-24」	速描で人体のプロポーションや動勢を捉える。	
		8週	素描クロッキー「21-24」	速描で人体のプロポーションや動勢を捉える。	
	4thQ	9週	色彩構成「25-26」	音楽を鑑賞し旋律やリズムを色彩や形象によって表現する。	

	10週	色彩構成「25-26」	音楽を鑑賞し旋律やリズムを色彩や形象によって表現する。
	11週	教科書学習「27-28」	教科書をテキストに美術作品及び美術史を学ぶ。
	12週	教科書学習「27-28」	教科書をテキストに美術作品及び美術史を学ぶ。
	13週	デザイン「29-30」	幾何形体を組み合わせ、強度を持った魅力的な立体表現をする。
	14週	デザイン「29-30」	幾何形体を組み合わせ、強度を持った魅力的な立体表現をする。
	15週	鑑賞「31-32」	視覚教材を鑑賞すると共に考察・批評を通してより良い鑑賞体験とする。
	16週	鑑賞「31-32」	視覚教材を鑑賞すると共に考察・批評を通してより良い鑑賞体験とする。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
	試験	課題作品	提出ファイル	平素の学習状況	合計
総合評価割合	0	80	10	10	100
基礎的能力	0	80	10	10	100